

乳児用液体ミルクってなに？

液体ミルクは 母乳代替食品です



母乳代替食品とは…

赤ちゃんにとって最良の栄養は母乳ですが、母乳が不足した場合、母乳継続が困難な場合に母乳の代替品として使用することができるものです。乳児の発育に必要な栄養条件を満たすよう、特別に製造された食品(粉ミルク、液体ミルク)のことをいいます。国で許可したのものには**特別用途食品のマーク**が表示されています。



粉ミルクと何が違うの？

- 調乳の手間がなく簡単。温め不要でそのまま授乳できます。
- 栄養組成は調乳後の粉ミルクと同じです。
- 滅菌済で衛生的ですが、飲み残しは雑菌が繁殖しやすいので与えないでください。

どんな使い方ができるの？

こんな時に

- ✓ 母乳は赤ちゃんにとって最良の栄養です。母乳が足りない赤ちゃんに安心してお使いいただけます。
- ✓ お湯が不要のため、災害時や備蓄に
- ✓ 外出時など調乳が大変なとき
- ✓ 母親が服薬等で授乳できないとき など

【使い方】

- 開封前によく振る等、使用方法を御確認の上与えてください。
- 水で薄めず与えてください。
- 紙パック、缶の場合は清潔な容器に移し替えて与えてください。

【与え方】

- 赤ちゃんの個人差やリズムに合わせてミルクの量や回数を加減してください。
- 初めての場合は少量ずつ与えてください。

どんな点に注意したらいいの？

【安全衛生上の注意】

- 開封後すぐに使用し、飲み残しは与えないでください。
- 容器に破損、膨張等や色、臭い、味に異常がある場合は使用しないでください。

【保存上の注意】

- 常温保存が可能です。
- 直射日光、火の近く、夏場の車中等を避けて保存してください。
- 保存期間が容器包装により違うので(紙パックは約6か月、缶は約1年)表示の賞味期限を確認しましょう。

【その他】

母乳が不足しているか、乳児の発育状況等を確認の上、用いることが望ましいため、医師・管理栄養士・助産師などに御相談ください。

詳細は実際の商品の表示や、
メーカーのHPを見て御確認ください。



【特別用途食品制度に関する問合せ先】

消費者庁食品表示企画課 TEL:03-3507-8800 (代)





乳児用液体ミルクってなに？

栄養素の基準

熱量（エネルギー）	標準濃度の熱量（100mL当たり）	60～70kcal	
成分	100kcal当たりの組成	成分	100kcal当たりの組成
たんぱく質	1.8～3.0g	イノシトール	4～40mg
脂質	4.4～6.0g	亜鉛	0.5～1.5mg
炭水化物	9.0～14.0g	塩素	50～160mg
ナイアシン※1	300～1500μg	カリウム	60～180mg
パントテン酸	400～2000mg	カルシウム	50～140mg
ビタミンA※2	60～180μg	鉄	0.45mg以上
ビタミンB ₁	60～300μg	銅	35～120μg
ビタミンB ₂	80～500μg	セレン	1～5.5μg
ビタミンB ₆	35～175μg	ナトリウム	20～60mg
ビタミンB ₁₂	0.1～1.5μg	マグネシウム	5～15mg
ビタミンC	10～70mg	リン	25～100mg
ビタミンD	1.0～2.5μg	α-リノレン酸	0.05g以上
ビタミンE	0.5～5.0mg	リノール酸	0.3～1.4g
葉酸	10～50μg	Ca/P	1～2
ビオチン	1.5～10μg	リノール酸/α-リノレン酸	5～15

※1 ニコチン酸及びニコチンアミドの合計量

※2 レチノール量

必ず表示されている事項



● 乳児用調製液状乳

- 母乳の代替食品として使用できるものである旨
- 乳児にとって母乳が最良である旨
- 医師、管理栄養士等の相談指導を得て使用することが適当である旨
- 標準的な使用方法
- 乳児の個人差を考慮して使用する旨

ほかにも栄養成分表示、原材料、内容量、賞味期限、保存方法、アレルギー表示等、大事な表示があります。表示をよく見て選んでください。

各商品の表示をよく見て利用しましょう。



【特別用途食品制度に関する問合せ先】

消費者庁食品表示企画課 TEL:03-3507-8800（代）

